

関西支部 LMAG ニュース

—第5号—

2015年6月発行

IEEE 関西支部 LMAG

Secretary 小林 正明 (文責)

目次

- ・ LMAG (Life Members Affinity Group) とは
- ・ 1 関西支部 LMAG 2015 年年次総会開催
- ・ 2 関西支部 LMAG 2014 年活動報告
- ・ 3 関西支部 LMAG 2015 年活動計画
- ・ 4 IEEE 関西支部の現況
- ・ 5 関西支部 LMAG 橋本 Chair からのメッセージ



関西支部 LMAG Banner

LMAG (Life Members Affinity Group) とは

経験豊かなライフ会員の更なる能力向上、社会貢献、相互交流などを通じた会員の意見吸収・便益向上、IEEE 活動への寄与、などを目的に支部内におかれるローカルなユニットです。

IEEE Kansai Section Life Members Affinity Group (関西支部 LMAG) は、本部への申請によって、2012/6/18 付けにて東京支部について日本国内で二番目に設立されました。関西支部 LMAG はライフ会員のステータスを持つ関西支部会員全員で構成され、支部内の他の委員会と同様の位置づけで活動しています。

2015 年の関西支部 LMAG メンバーは 155 名となっています。

1 関西支部 LMAG 2015 年次総会開催

2015/2/10 にキャンパスプラザ京都（下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939）において、関西支部総会の直前に関西支部 LMAG2015 年年次総会が開催され、Chair に橋本正弘先生（元大阪電気通信大学）が、Vice-Chair に木戸出正継先生（元奈良先端科学技術大学院大学）が、Secretary に小林正明氏が、それぞれ 2015 年役員として承認されるとともに、2015 年の活動計画案が示されました。

<http://www.ieee-jp.org/section/kansai/organization/lmag/lmagannual2015.html>

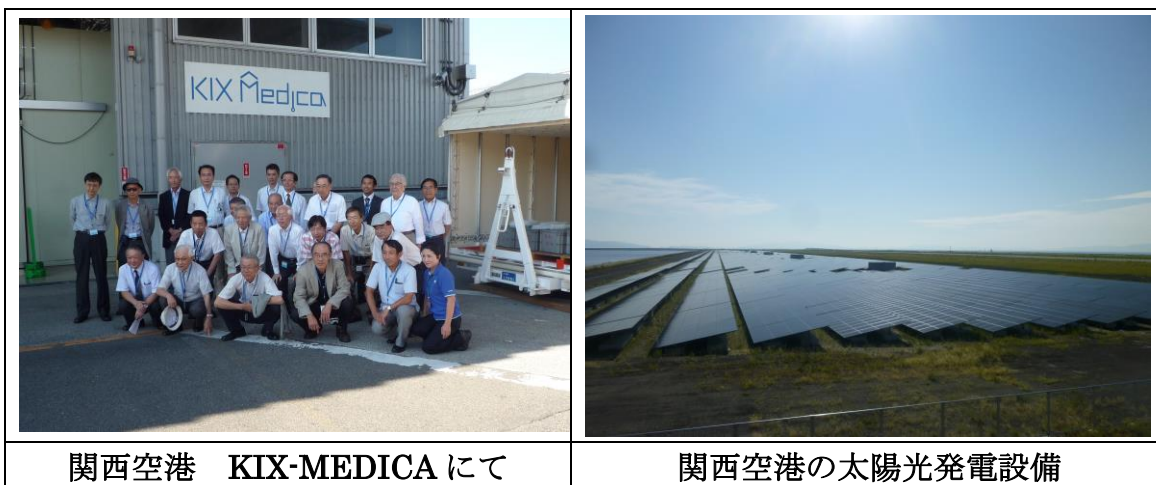


左から橋本 Chair、木戸出 Vice-chair、小林 Secretary

2 関西支部 LMAG 2014 年活動報告

2014/2/17 に年次総会を開催しました。活動 2 年目として LMAG 活動を軌道に乗せるべく、3 回の現地講演会を技術講演会の一環として関西支部 TPC と共催しました。6/27 理化学研究所計算科学研究機構、9/9 関西空港、11/29 大阪大学産業科学研究所、以上のそれぞれにおいて、LMAG が主体となった現地技術講演会を開催しました。これらにより現地講演会というスタイルを定着させました。また、役員会は 2014 年次 5 回、開催しました。第一回 (2/17、京都テルサ) と第二回(6/11、高山サイエンスプラザ)で、2014 年の進め方とこれからの運営体制について議論しました。第三回は 6/27、大阪グランフロントナレッジキャピタルにて、LMAG サロン活動の検討を開始しました。そして、第四回を関西空港での現地講演会(9/9)の後に開き、来年度の新たな活動方向の検討を行いました。第五回を 12/18、淀屋橋住友ビルにおいて開催し、今年の活動のまとめと来年の活動の具体化について議論しました。5 月と 9 月に

「Kansai-Section LMAG Newsletter」を発行しホームページに掲載するとともに電子メールにて案内しました。



3 関西支部 LMAG 2015 年活動計画

2015 年は 2014 年から少し新しくした役員体制で運営していきます。

2015 年は年間活動 3 年目として新体制のもとで活動をより活発化させます。2 月に年次総会を開催しましたが、その後は、2014 年同様に、関西支部 TPC、WIE などと連携して数回の講演会（現地技術講演会も含む）を開催します。同時に YP や SB との交流を活発化させます。また、「Kansai-Section LMAG Newsletter」を発行しホームページに掲載するとともに、電子メールにて発行を

案内していきます。

6月3日には、今年最初の企画として、新たにマイルストーンに認定された京都大学生存圏研究所 信楽観測所 MUレーダーの見学会を開催しました。その見学会の直前には、人口よりも狸が多い信楽地域のミニ散策も行いました。



今後の企画として、9/24（木）に SPRING 8 での現地技術講演会、10月には京大花山天文台での現地技術講演会を計画しています。ご予約に入れておいていただき、積極的なご参加のほど、よろしく願いいたします。

4 IEEE 関西支部の現況

2015年1月25日時点の会員数は、2,307名で1998年の関西支部設立以来順調に増加しています。関西支部傘下の Chapter は 12 chapters、Student Branch は 7 SBs となっています。各 Chapter の中には、Japan Council の Chapter 再編の流れを受けて、関西支部 Chapter が含まれる Joint Chapter へ移行しているところもあります。

関西支部ゆかりのマイルストーンは、従来の6件に加え、京都大学と三菱電機(株)により開発された「MUレーダー」が新たに認定されて、計7件となりました。IEEE本部からのマイルストーン贈呈式が最近開催されました。

関西支部ホームページにも、現況をはじめ多くの情報が掲載されています。
(<http://www.ieee-jp.org/section/kansai/>) ”IEEE 関西支部 “で検索していただいてもすぐに見つかりますので一度ご覧下さい。

5 橋本 Chair からのメッセージ

今年から Chair を仰せつかりました橋本です。この場を借りてご挨拶とお願いを申し上げます。

Life Members Affinity Group (LMAG)は発足からすでに2年を経過し、ほぼ現行の形が出来上がりました。これも偏に、関西らしさに拘った前 Secretary(現 Vice Chair) の木戸出先生と事務局の平野さんの企画によるものです。結果として、関西ならではの多彩な技術見学会、Technical Program Committee (TPC)との共催による技術講演会を実施してまいりました。一方、その間 LMAG はたえず退職されたメンバーの方々の興味を引く催しを模索し続けてまいりました。執行部が関与する専門分野だけでは皆さんの興味を網羅することが難しく、広くご意見を聞いてまいりました。技術講演会以外の集会も実施可能ですので、是非ご提案をいただきたくお願い申し上げます。

なお、IEEE 関西支部に Young Professionals (YP)と Women in Engineering (WIE) の二つの Affinity Group が新たに誕生したことで、現役のスタッフに老人、若手、女性が加わり、活動の範囲が一層広くなりました。若手研究者や女性研究者のグループと交流できるまたとない機会を得たわけです。しかし LMAG としてはどのような共催活動かというと、現在は暗中模索している段階です。ここぞメンバー皆様のご支援が必要な段階ですので、忌憚のないご意見を事務局宛に届けてください。これらのグループの活動に皆さんの関与が少しでも寄与できるなら LMAG の設立趣旨の思うところです。もっとも、LMAG を経ないで直接これらのグループの会員になって活動することも可能です。そうすることで恐らくこれまで経験されたことのない会議に参加できるでしょう。終身会員の LMAG メンバーの皆さんが長年培われた貴重な知識・技術を次世代の若手、女性研究者（技術者）にお役だてくださることを願っています。

会員リニューアル手続き

まだ手続きがお済みでない方は、2015年の会員サービス及び刊行物の継続利用の手続きをお願いいたします。この手続きは、www.ieee.org/renew にアクセスして行うか、本部より郵送された LM 更新手続きの用紙で行うことができます。また、IEEE Life Members Fund へのご寄付の検討も併せてよろしく願います。年間 30 万 US ドル以上の Life Members Fund 慈善支援は、各教育レベルにおいて工学・科学・数学への興味を増進させる活動や、電気・情報技術の歴史を残す活動、そして IEEE ライフ会員の膨大な経験の活用などの目的に使用されています。

編集後記 関西支部LMAG事務局より

LMAG事務局の平野です。2013年,2014年に続き今季も事務局を務めさせていただくことになりました。引き続きよろしくお願いいたします。

さて、春になり現地講演会の下見に何箇所か行ってきました。新緑の中、天候に恵まれて、と書きたいところですがあいにくの雨の日が多く、また途中の駅前には食事施設が少なかったりと、なかなか苦労したりしながら楽しんでおります。どこであれ提案いただければどしどし下見に参りますので、あんなところを見たいなとか、ここでやったらどうだ? こんなことしたらどうだ、というご提案をお待ちしております。イベントのご提案等は私の学会メールアドレス k-hirano@ieee.org までお送りいただけますと幸いです。

<p>IEEE Kansai Section Life Members Affinity Group Newsletter 2015年6月発行第5号 発行：IEEE 関西支部 Life Members Affinity Group E-Mail: lmag-kansai@ieee-jp.org (エルエムエージェーです)</p>
